

シンポジウム

# 原子力政策をどう決めるか 福島原発事故をきっかけに

基調講演：「原子力政策の策定方式とその改革構想」吉岡 斉(九州大学教授)

コメント：寿楽 浩太(東京電機大学助教)

パネル・ディスカッション：吉岡 斉・寿楽 浩太・宮台 真司・杉田 敦(兼司会)

●講師・パネラー（敬称略）



吉岡 斉

九州大学教授、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会元委員、原子力市民委員会座長代理、専門は科学技術史・科学技術政策、著書に「原子力の社会史」ほか多数



寿楽 浩太

東京電機大学助教、日本学術会議学術調査員、専門は科学技術社会学



宮台 真司

社会学者、首都大学東京教授、当会共同代表



杉田 敦

(コーディネーター)  
政治学者、法政大学教授、当会共同代表

福島の原発事故をきっかけに、現代社会のさまざまなゆがみが表面化した。科学・技術と社会の関係のあり方もその一つである。「原子カムラ」という巨大な利権構造の存在が露呈したが、その背景には、社会の側が「官・産・学共同体」の「専門性」を信用し、重大な決定を彼らにゆだねてきた事情もある。他方で「官・産・学共同体」側も、格納容器は破れないと過信し、社会への一方的な「啓蒙」を行ってきた。しかしながら、苛酷事故を経た現在、重大なリスクを含む意思決定は彼らに委ねられるものではなく、社会の幅広い参加が必要となっている。科学技術史の学識の上に、こうした論点を早くから指摘し、政府事故調の一員として原発事故に正面から向き合った吉岡斉氏と、新進気鋭の科学技術社会学の研究者である寿楽浩太氏を講師に迎え、共同代表である宮台真司・杉田敦との対話を含めて、「社会の中の科学・技術」のあるべき関係について考えを深めたい。

●日 時： **2014年7月19日(土)**

開場13:30 開演14:00 終了予定16:30

●会 場： **安田コミュニティプラザ 竹橋・大手町会議室**

東京都千代田区神田錦町2-9 コンフォール安田ビルB1F

当日連絡先：090-1702-8136 (鹿野)

竹橋駅 徒歩3分(東京メトロ東西線)

大手町駅 徒歩6分(東京メトロ千代田線・半蔵門線)

神保町駅 徒歩7分(東京メトロ半蔵門線、都営三田線・新宿線)

●参加費： **事前申込み1,000円、当日1,200円**

●申込み： E-mail: [info@kokumintohyo.com](mailto:info@kokumintohyo.com)

氏名・メールアドレスを記載し、件名を「719イベント申込み」として送信してください。

※事前申込みは、前日24時まで受け付けます。

●当日のボランティアも募集しています。ご協力いただける方は申込メールでお知らせください。



みんな で 決めよう

**「原発」国民投票**



●市民グループ

みんなで決めよう「原発」国民投票

<http://kokumintohyo.com/>

112-0005 東京都文京区水道2-11-7 第3毛木ビル2階

TEL & FAX: 03-6902-9775